

日曜日のスケジュールひょう作り

下の時間の線を^{りよう}利用して、日曜日のスケジュールをたてましょう。

1日は24時間だよ。
1日のスケジュールひょうを作ってみよう!

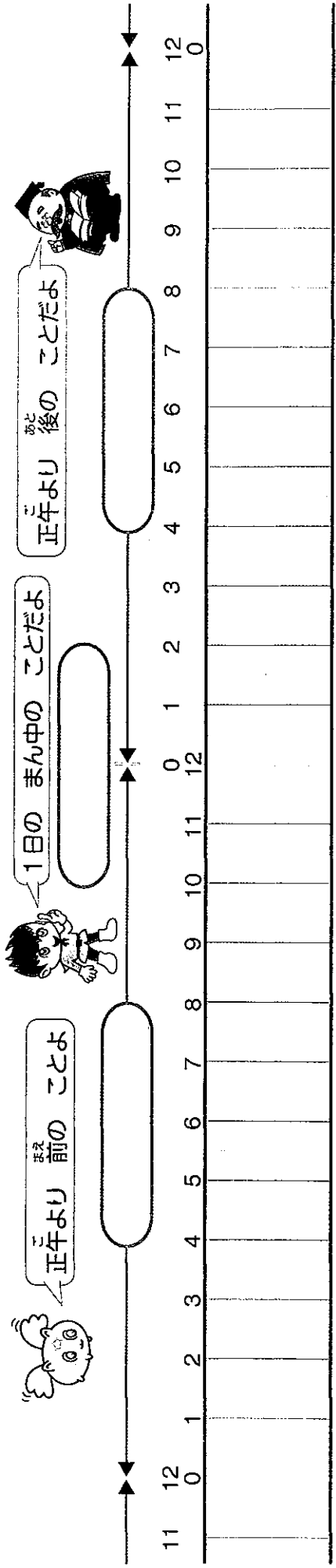
① ひょうの にあてはまることばを書き入れましょう。

② この日の始まりの時こくとおわりの時こくに赤で線を引きましょう。

③ 朝おきる時こくをきめて、下のひょうに書きこみましょう。

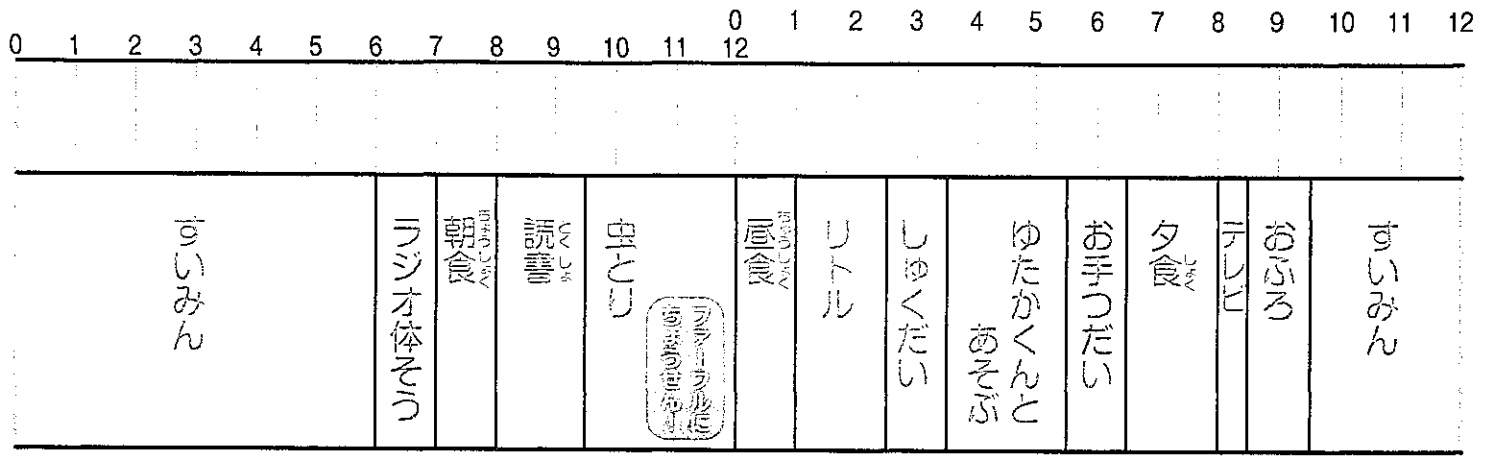
④ べんきょうの時間は午前中に2時間とります。何時から何時までやるか、ひょうに書きこみましょう。

⑤ 昼ごはんは、午後0時30分から食べはじめます。食べている時間を自分できめて、ひょうに書きこみましょう。



日曜日のスケジュールひょう

これは、むつみちゃんのある日曜日のスケジュールひょうです。ひょうを見ながら、下のしつものに答えましょう。



① 朝おきる時こくは何時ですか。
【 】には、午前か午後も書きましょう。

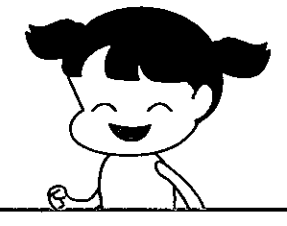
【 】時

② 読書をしている時間は何時間何分ですか。またそれは何分ですか。

時間 分 = 分

③ 昼食は何時からとりますか。3つの言い方で言いましょう。

午前 時 = 午後 時 =



④ むつみちゃんがおきている時間は何時間何分ですか。

時間 分



算数 じ 時こくと じ かん 時間



もんだい 1

ふたり はなし を きいて かんが 考えましょう。

ぼくは 今日、(1)午前6時45分におきたよ。いつもより (2)15分もおそかったから あせっちゃった。



←ヒラック

わたしは、さいきん 早おきな。だから 夜は 早く ねる ように しているの。きのうは (3)午後8時には もう ねていたわ。



←パル

① ~~~ が ひいて ある ところは、時間・時こくの どちらの ことを 言っていますか。○を つけましょう。

(1) 午前6時45分 → [時間・時こく]

(2) 15分 → [時間・時こく]

(3) 午後8時 → [時間・時こく]

② ヒラックの いつも おきる 時こくを 答えましょう。



もんだい 2

□に あてはまる 数を 書きましょう。

♡ | 時間 = □ 分 ⇔ 100分は じ かん 時間 ぶん 分

♡ | 日 = □ 時間 ⇔ 34時間は 日 と じ かん 時間

これは 大切!!





かくにん しょう①

① つぎの ^{けいさん}計算を しましょう。

① $87 - 43 =$

② $23 + 46 =$

③ $286 - 156 =$

④ $231 + 47 =$

② に あてはまる ^{かず}数を ^か書きましょう。

① 100を 42こ あつめた ^{かず}数は です。

② 1000より 2 小さい ^{かず}数は です。

③ $1\text{ cm } 6\text{ mm} =$ mm

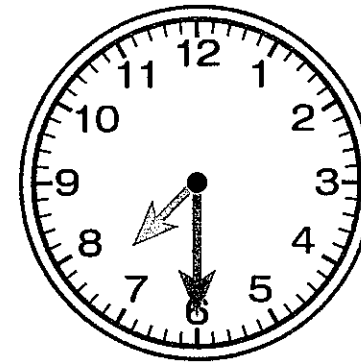
④ $1\text{ m } 70\text{ cm} =$ cm

⑤ $3\text{ L } 4\text{ dL} =$ dL

③ ^{とけい}時計が さして いる ^じ時こくを、() に ^{こぜん}午前・^{ごご}午後を つけて ^た答えましょう。

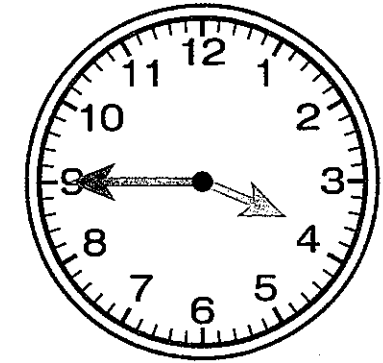
① ^{がっこう}学校へ ^い行きました。

② ^{こうえん}公園で あそびました。



答え

()



答え

()

④ たかしくんのお父さんの ^{とし}年れいは 43さい、お母さんの ^{とし}年れいは 37さいです。また、たかしくんは ^{かあ}お母さんより 28さい 年下です。たかしくんは ^{おとう}お父さんより ^{なん}何さい 年下ですか。

しき

答え



名前

① あついで、夏の日のこと。

ファーブルは、道に はらばいになつて、むちゅうで、なにかを かんさつして いました。

じりじりと、太陽に てりつけられて、ファーブルの からだは、あせて、ぐっしりてした。

けれど、ファーブルは、道を よこぎって いく こん虫の ことしか、頭に ありません。

アナバチが、じぶんの からだの 三ばいも ある、大きな イナゴの しよつ角を、ずるずると ひっぱって いく ようすを、もう、長い あいだ かんさつして いるのです。

② とつぜん、ファーブルは、はさみを とりだして、イナゴの しよつ角を、パチンと 切りました。

そして、また、じつと かんさつを つづけます。 しよつ角を 切られた とたん、アナバチは、すてんと しりもちを つき、それから、また おきあがると、小さく なつた しよつ角を、くわえて、ひっぱりました。

③ 「ううん、おかしいなあ。こんども、みじかく 切つた しよつ角を、くわえたぞ。なぜ、くわえやすい ひげや 足を、つかんで、はこばないんだらうか。ようし、かわいそうだが、また じっけんだ。」

④ そう、つぶやくと、ファーブルは、みじかく 切つた しよつ角を、さらに ねもとから チョキンと、切つて しまつたのです。

⑤ それから、イナゴの まえ足を、アナバチの 顔の まえに もって、いきました。

⑥ アナバチは、すぐに あきらめて、ブーンと、とびさつて、いきました。

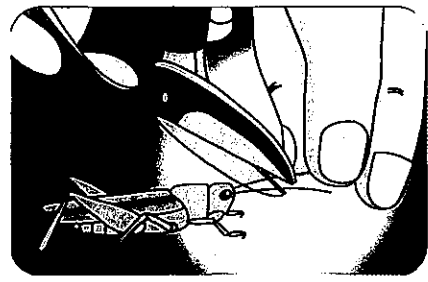
⑦ 「えものに、ちゅうしゃを、して、まひさせるほど、みごとなはたらきを、するの、なぜ、かんたんな はこびかたに は、気づかないのだらう?」

⑧ しばらく かんがえて、いた ファーブルは、やがて、にっこりして、大きく うなずきました。

⑨ 「そうか、本のう(どうぶつが うまれつき もって いる、行どうの しかた) なんだ。こん虫は、頭で かんがえて、行どうするのは、なくて、本のうで、うごいて いるんだ!」

⑩ この 日も、ファーブルは、すばらしい はっ見をしたのでした。

⑪ こうして、ファーブルは、はっ見や、けんきゆうの、けつかを、はっぴようし、しだいに、みとめられる ように になりました。



(1) 「ファーブルは、かんさつして、いました」とありますが、何を かんさつして、いましたか。くわしく明して、いる 部分を、さがして、文章中に、線を 引きましよう。

(2) 「とつぜん、ファーブルは、はさみを、とりだして」とありますが、この 後、ファーブルは、どんな じっけんをしましたか。じっけんの 順番に、なる ように、から、ファーブルの、した、ことを、えらび、に、記号で、答えましよう。

アナバチは、しりもちを、つき、おきあがると、小さく なつた、しよつ角を、くわえて、ひっぱります。

アナバチは、あきらめて、とびさつて、いく。

「イナゴの、まえ足を、アナバチの、顔の、まえに、もって、いく。
イは、さみで、イナゴの、しよつ角を、切る。
ウ、イナゴの、しよつ角を、さらに、ねもとから、切る。」

(3) 「なぜ、かんたんなく、気づかないのだらう?」とありますが、「かんたん」な はこびかたとは、どのような はこびかたの、ことですか。に、あてはまる、言葉を、文章から、書きぬきましよう。

みじかく、切つた、くわえにくい、
では、なく、もつと、くわえやすい、ひげや、
つかんで、はこぶ、という、はこびかた。

(4) 「すばらしい、はっ見をした」とありますが、ファーブルは、どんな、ことを、はっ見しましたか。文章中の、言葉を、つかつて、書きましよう。

人間にも、本のうは、あるの? ★★本のうチエック★★

① 赤ちゃんが、はじめて、おっぱいを、のむ、時、だれかに、のみ方を、教えて、もらつた。

② かなしい、時は、なみだを、出すんだよ、と、教えて、もらつた、ことがある。

③ ねむる、時も、こきゅうするんだよ、と、教えて、もらつた、ことがある。

④ 楽しい、時には、わらつたよ、と、教えて、もらつた、ことがある。

「いいえ」に、丸がついたら、それは、本のうだ!



- はい、いいえ
はい、いいえ
はい、いいえ
はい、いいえ

(岡信子「ファーブルものがたり」より)



フアールってどんな人？

フアールさんが自分のことを
書いた文章だよ。読んでみよう。



わたしは子どものころから、ものかんさつしたり、ものごとがなぜそ
うなるのだろうと、ふしぎがり、知りたがるくせがありました。

少し大きくなってから、わたしはあひる番を言いつけられました。家か
らちよつとはなれたところに小川がありました。わたしはそこまでたった
一人であひるのひなたちをおいたてていつては、いずみで水あそびをさせ
るのです。

けれども本当のところ、わたしはそこであひるの番なんかしてなかつた
のです。

わたしはいつも、あひるたちのあそぶのをよそに、きしべにはらばいに
なつて、水の中の生き物たちを、かんさつばかりしていました。

これはなんだろう。水のそこにしずんでいるはいろいろのほどけた毛糸の
ようなものは。

手ですくうと、ゆびのあいだを、するするとすべつておちます。中をよ
く見ると、ピンの頭ほどの黒いつぶが、いっぱいならんでいて、ひらべつ
たいしつぽが、ついているみたいです。

そうだ、わかつた。これはおたまじやくしになるまえの、かえるのたま
ごだ。

あたりには、はねかざりや、毛のふさをつけた虫も見えました。

これはなんだろう。なにをしているんだろう。

また、いずみの水が小川になつて、ながれているとちゆうには、ハシバ
ミの林があつて、そこではタマコガネムシを見つけました。うつとりする
ようなあおい色をしていて、わたしは、天使というのはきつとこんな色の
ドレスを着ているにちがいないと、思ったものです。

あひるたちの水あそびがおわると、わたしはこの虫を、かたつむりのか
らに入れて、木の葉でふたをし、こっそり家にもちかえりました。

しかし、たくさんの虫などをもつてかえるとわたしは、お父さんにおこ
られました。わたしの家はとつてもびんぼうだったので、みんなできよう
りよくしてはたらかなければならず、そんなものをひろつてくるのだつた
ら、くらしのやくにたつものを見つけてほしかったのでしよう。

わたしは、しかたなくそのたからものをすてましたが、あきらめてはい
ませんでした。大人になつても、かんさつをつづけました。

わたしはやがてけつこんし、子どもたちもでき、学校の先生をつづけな
がら生き物たちのかんさつをつづけました。

そして、そのかんさつのきろくを書いておいたのです。それをまとめた
ものが、フアール昆虫記なのです。

5

10

15

20

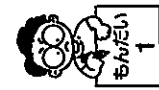
25

30

35



はんたいの言葉



はんたいの いみの 言葉を えらんで、 ・ と ・ を 線で
 むすび、その 二つの 言葉から できる 熟語を ↓ の
 下に 書きましょう。() には、読み方を ひらがなで 書
 きましょう。

- ① 売うる ・
- ② 多おほい ・
- ③ 遠とほい ・
- ④ 強つよい ・

- ・ 少すくない →
- ・ 弱よわい →
- ・ 買かう →
- ・ 近ちかい →

() () () () () () () () () () () ()



はんたいの いみの 漢字を 二つ 組み合わせて、熟語を 五
 つ 作りましょう。() の 中には、読み方を ひらがなで
 書きましょう。

上	後	母	前	夜
南	北	父	下	
()	()	()	()	()
[]	[]	[]	[]	[]

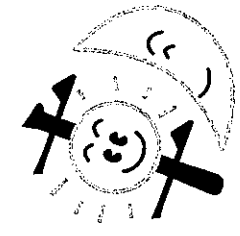


なぞなぞ 漢字



□ に あてはまる 漢字を 書き入れましょう。

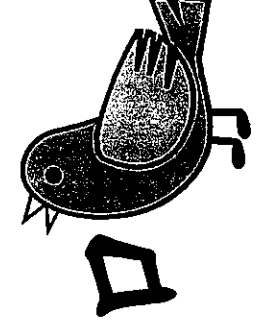
あさ
□ ですよ。



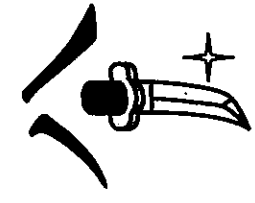
牛うしの □
この



□
な き声



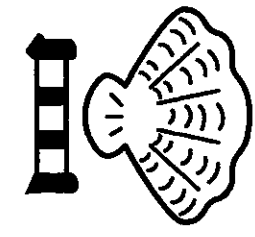
おやつを
□
わ ける。



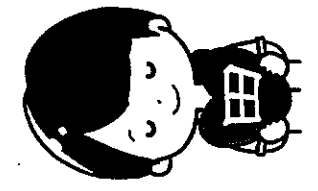
お □
みせ 屋さん



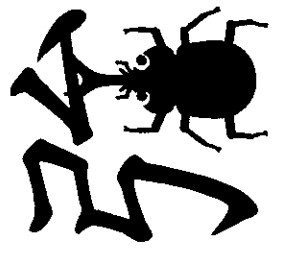
お □
か 物の



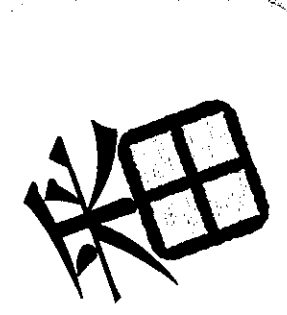
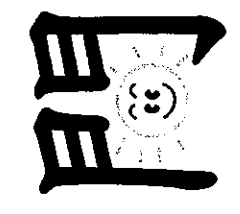
□
おも い出を
ふりかえる。



風かぜが □
つよ い。

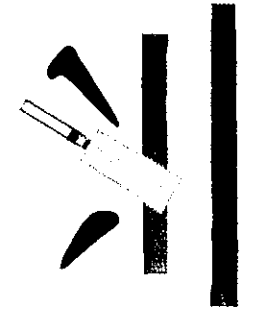


□
あいだ から
日ひが ぞす。



お留守
□
ばん

七月しちがつの □
なか ば



□ □
つき よ の
ばん

